

# 組合員から夏季手当を求める声! 声! 声!

21 春闘の結果は定昇はあったものの、係数2という厳しいものでした。組合員からは多くの怒りの声  
が挙がっています。これから夏季手当のたたかいが始まりますが、組合員からは様々な声が出てます  
よ!

- 業績を上げようと各種施策を担ってきた。その努力には応じるべき。
- 消毒や、家庭でも感染し業務に支障が出ないように努力してきた。結果、気だけ疲れてボーナ  
スまで減らされたらたまったもんじゃない。
- 人材を集めるためにもボーナスは下げるべきでない。
- 業績が悪いから手当を下げるのは社員への責任転嫁に見えてしまう。モチベーションも下がる。
- 黒字化の取り組みを組織として取り組んでいる。夏季手当の交渉では強く訴えるべき。
- 通常業務の傍ら、会社施策の為にモニタリングや業務研究を行っている。大雪や降雨による対  
応や 2 月から連続して起きている地震対応を夜遅くまで行ってきた中で、書面や言葉で「尽力して  
感謝する」としかないのでモチベーションは向上しない。ボーナス+αくらいほしい。
- 施策優先や変革のスピードを求められ、必死に応えようとコストダウンなどにも取り組んでいる  
が、収入も減り、疲労しか残るものはない。我々労働者は生活費を切り崩しながら生活している現  
状に、住宅セミナーなどのボーナスありきのローン計画を立てさせている責任を認め、必要経費は  
支払うべき。

様々なローンの支払いも家庭をひっ迫しています! 厳しい  
状況でも黒字化に向けて各種施策を担っている組合員の  
声に会社は応えるべき! 夏季手当満額獲得に向けてたた  
かいを創り出そう!

